

個人投資家向け説明会

AREホールディングス株式会社
(証券コード:5857)

2026年5月



ARE
Think Circular



目次

1. AREについて
2. 事業紹介
 - I. 貴金属リサイクル事業
 - II. 北米精錬事業
3. 成長戦略
4. 株主還元
5. よくあるご質問



Purpose

“この手で守る自然と資源”

限りある資源と地球環境を守り、持続可能な世界の実現に貢献します

会社概要

創業

1952年

事業内容

貴金属事業・環境保全事業

従業員数

998名 ※2026年3月31日時点

拠点数

国内23カ所・海外14カ所

売上収益

6,800億円 ※2026年度予想

営業利益(EPS)

410億円(337.4円) ※2026年度予想

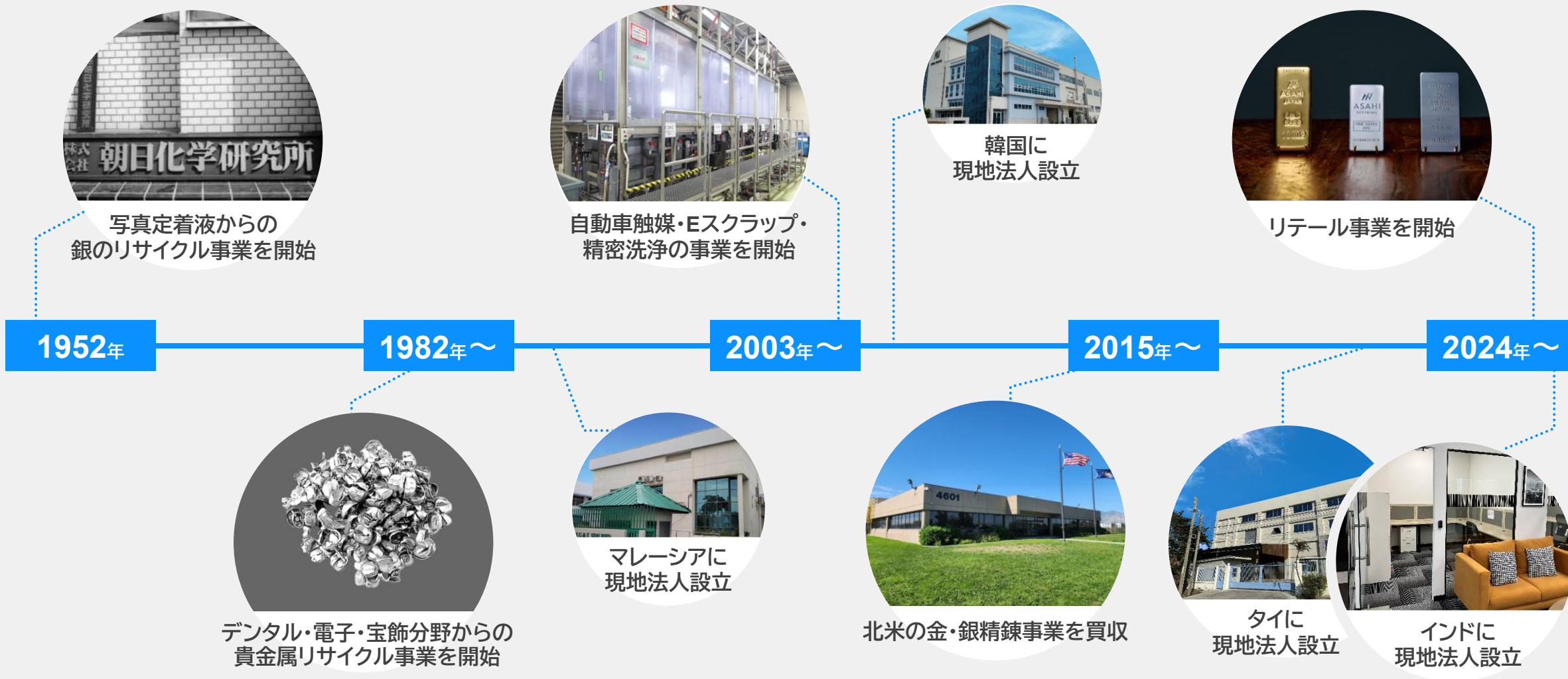
ROE

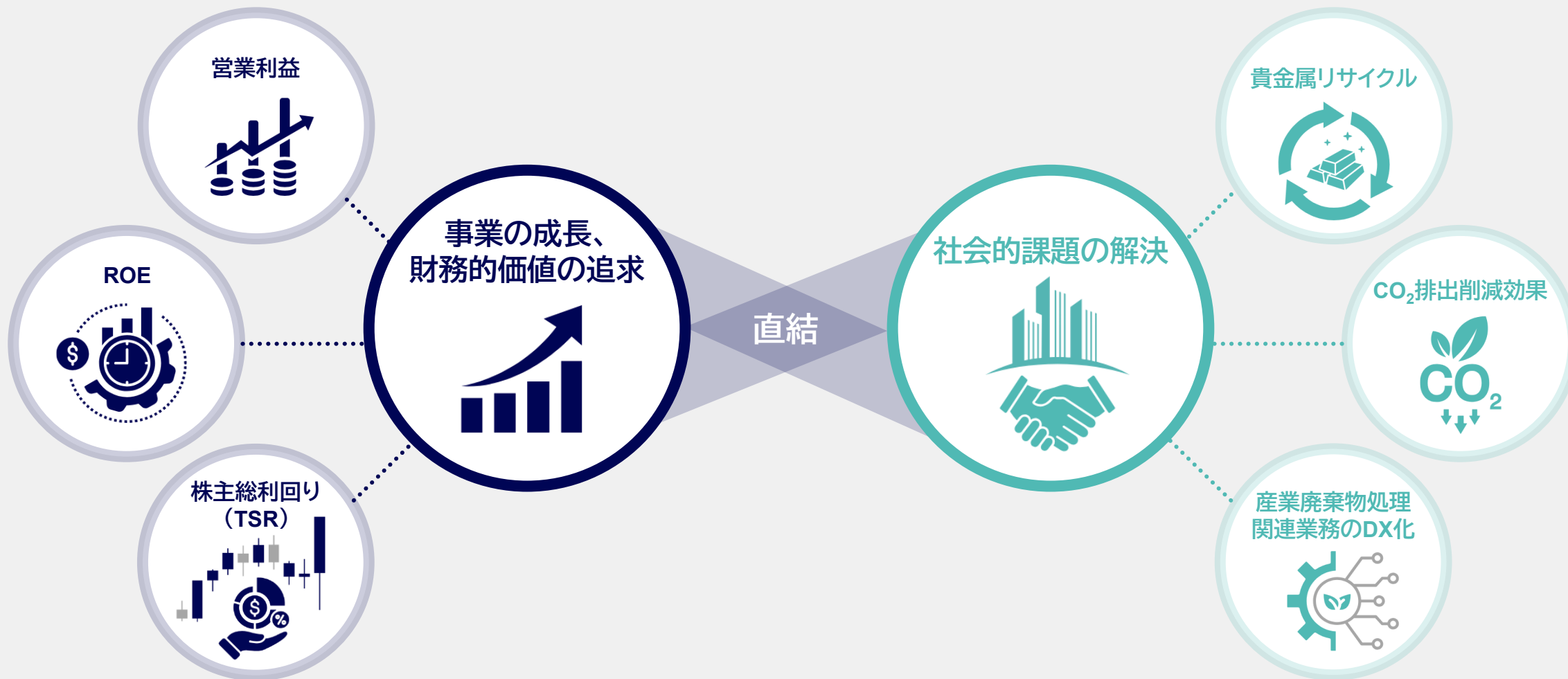
13.3% ※2026年度予想

PBR(PER)

1.4倍(11.4倍) ※2026年5月8日時点

創業から70年を超えた当社の歩みは 挑戦の歴史





当社の事業活動は、サステナビリティ貢献そのものであり、
事業の成長が社会的課題解決への貢献につながる



目次

1. AREについて
2. 事業紹介
 - I. 貴金属リサイクル事業
 - II. 北米精錬事業
3. 成長戦略
4. 株主還元
5. よくあるご質問

STEP1

回収 (Collection)

-  **デンタル** ✓ 歯科用の補てつ物
-  **宝飾** ✓ 宝飾品 (指輪・ネックレス等)
-  **電子** ✓ 表面処理
✓ 精密洗浄
✓ Eスクラップ
-  **触媒** ✓ 自動車触媒
✓ 化学触媒

✓ さまざまな分野から発生する貴金属含有スクラップを回収

STEP2

分析・回収 (Recovery)



貴金属含有量の分析



貴金属ごとに精錬

✓ 蓄積したノウハウを活かした
精確な分析および回収

STEP3

現物返却または販売



メーカーへ現物返却



商品市場・商社などへ販売

✓ 精製した貴金属は顧客へ現物返却
または、商品市場などへ販売

全国を網羅する**広範な回収ネットワーク**と 創業以来蓄積された**技術・ノウハウ**が当社の競争力の源泉

全国を網羅する広範な回収ネットワーク



自社従業員が顧客一件一件を直接訪問する、
顧客密着型の営業体制を構築

創業以来蓄積された技術・ノウハウ

分析技術



- ✓ 回収物を複数の工程により均一化し、代表性のあるサンプルを抽出
- ✓ 回収物の種類や組成に合った分析機器・方法を用いることで、高い分析精度を実現

精製技術



- ✓ 回収物ごとに最適な前処理を行うことで、貴金属を効率的に精製
- ✓ 創業時から培った経験と自動化・省人化を実現する最新設備によって、高い回収効率を実現

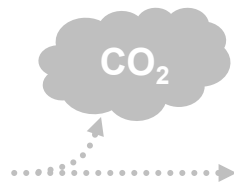
- リサイクル原料から作られる当社の製品は、採掘由来の原料に比べて製造過程のCO₂発生量を98%削減可能
- 当社では製造工程で発生するNO_xを水に溶解し、硝酸として再利用することで、環境への影響を排除

CO₂排出量の少ない製造プロセス

火力を用いる乾式精錬



鉱山由来の原料

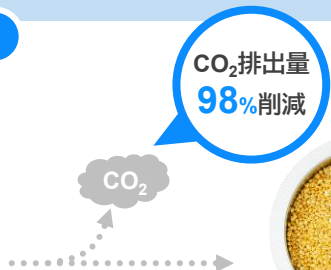


地金

酸・アルカリを用いる湿式精錬



リサイクル原料



グラニュール

製造工程で発生するNO_xを再利用

貴金属リサイクルのプロセス



世界で流通するブランドとして認定



LBMA

GOOD DELIVERY
REFINERLONDON
PLATINUM &
PALLADIUM
MARKET

※ LBMA: ロンドン地金市場協会

※ LPPM: ロンドン・プラチナ・パラジウム市場

国際的な認定機関が定める厳しい基準をクリアした、信頼性の高い地金製品を提供

▶ 世界中の先物取引所で取引が可能



責任ある貴金属の取り扱いを徹底

RESPONSIBLE
JEWELLERY
COUNCIL

CERTIFIED MEMBER

0000 6719

※ RJC: 責任あるジュエリー協議会

CHAIN
OF
CUSTODY

CERTIFIED NUMBER

C0000 5457

行動規範および加工・流通過程管理に関する国際的認証を取得

▶ 貴金属サプライチェーンの一員として責任を果たす

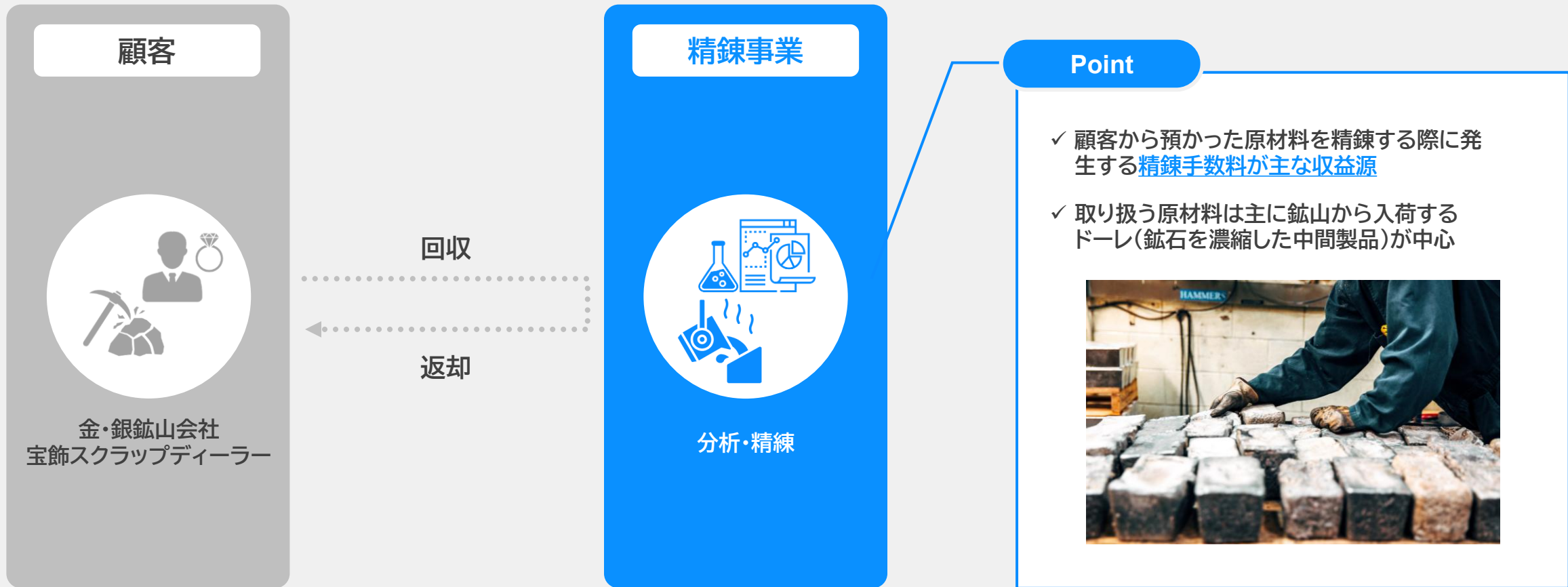
Point

- ✓ 国際機関が定めるガイダンスに準拠した貴金属管理体制を構築
- ✓ 当社のリサイクル貴金属製品は、資源の有効活用と産業の発展に貢献



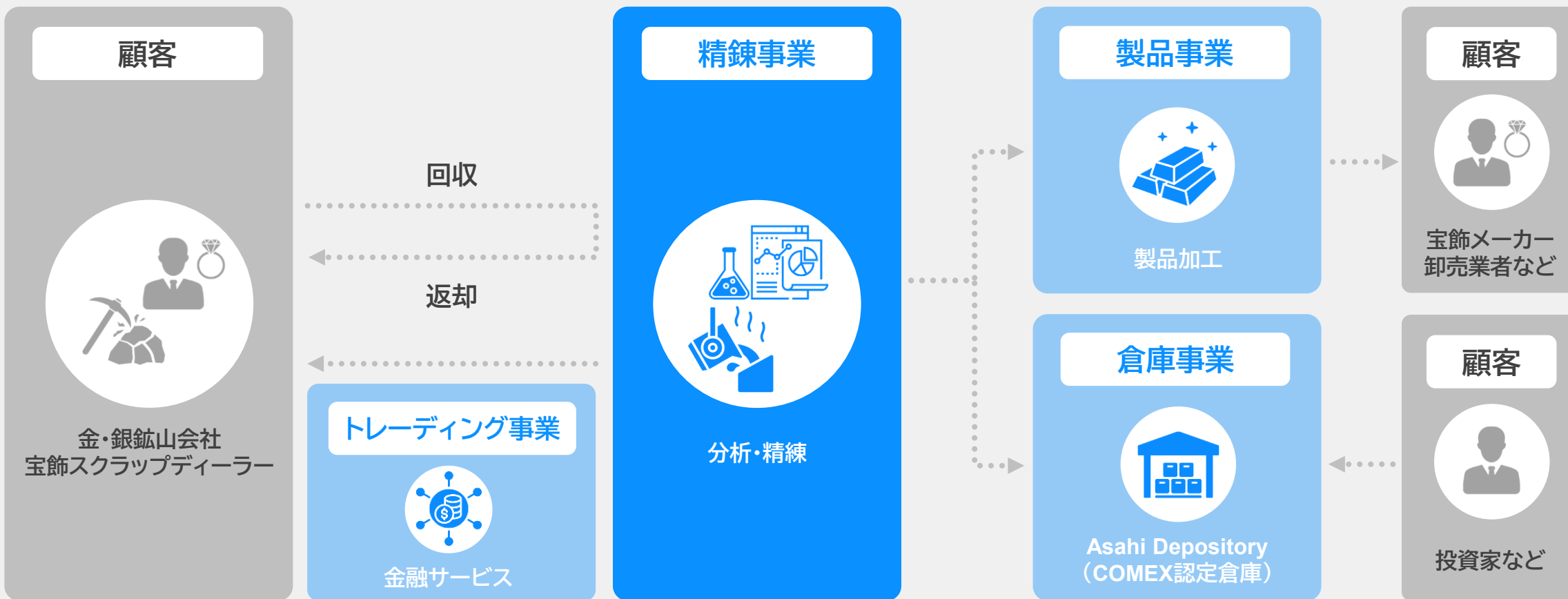
目次

1. AREについて
2. 事業紹介
 - I. 貴金属リサイクル事業
 - II. 北米精錬事業
3. 成長戦略
4. 株主還元
5. よくあるご質問



事業の強み

- ✓ 日本国内で蓄積した分析・精練ノウハウの活用によって、精錬能力・生産性を向上
- ✓ 南北アメリカ大陸における宝飾品スクラップ市場では高い取り扱いシェアを誇る



事業の強み

- ✓ コアとなる精錬事業とシナジーを発揮する事業の多角化を進めることで、収益機会が拡大
- ✓ 利益創造の可能性が広がったことで、先行き不透明な市場環境においても事業成長を実現



目次

1. AREについて
2. 事業紹介
 - I. 貴金属リサイクル事業
 - II. 北米精錬事業
3. 成長戦略
4. 株主還元
5. よくあるご質問



1 **成長戦略**

- 新市場の獲得
- 事業の地理的拡張
- リテール事業の強化

2 **財務戦略**

- 成長投資
- 株主還元
- 財務健全性

3 **人的資本**

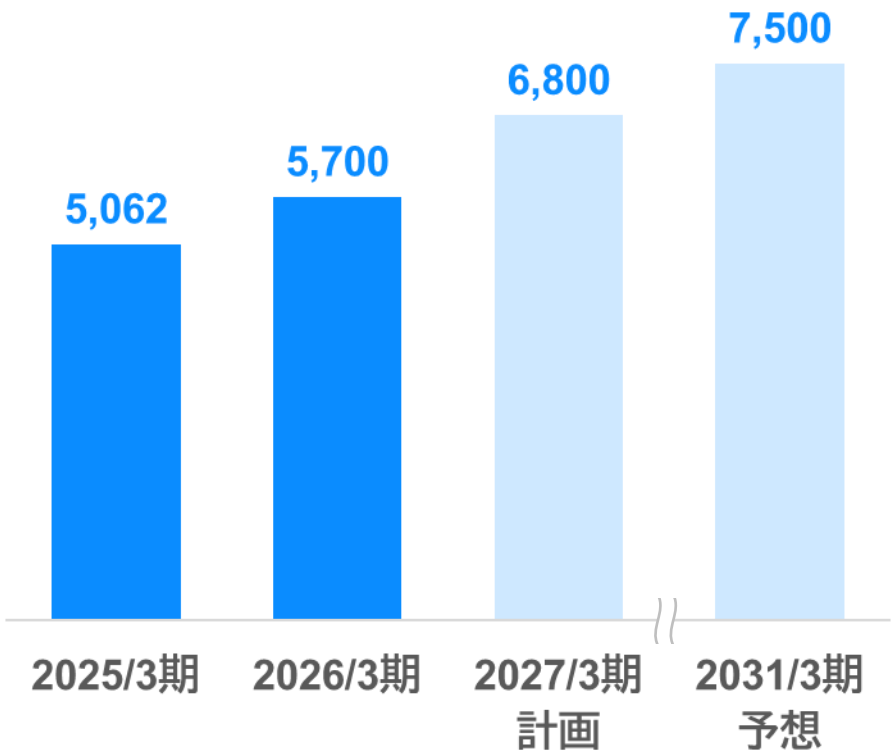
- 組織力の強化
- 人材の育成

	売上収益	営業利益	ROE	EPS
2030年度の 数値目標	7,500 億円 (策定当初比 +2,100億円)	500 億円 (策定当初比 +120億円)	13%	420 円



売上収益

単位:億円

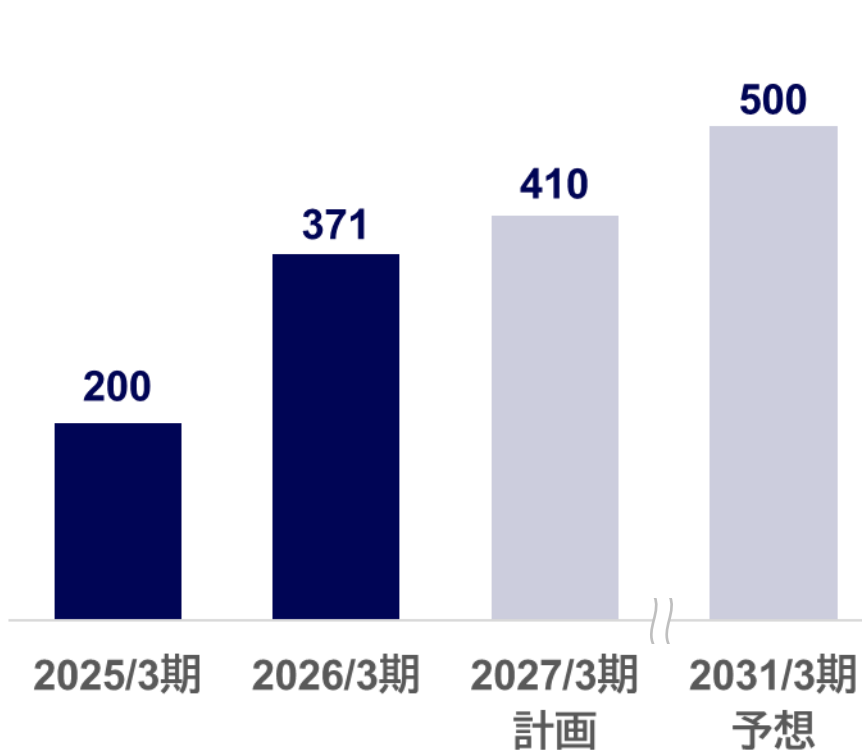


2031/3期予想のPoint

- ✓ 2024年発表の当初予想から2,100億円上方修正

営業利益

単位:億円



2031/3期予想のPoint

- ✓ 2024年発表の当初予想から120億円上方修正

成長戦略①

技術開発による新市場の開拓

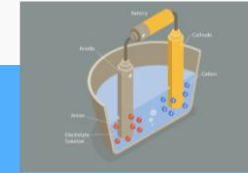
貴金属リサイクルに関する研究開発を強化し、**新分野からの回収量拡大**を狙う



AI半導体関連
(金・パラジウム等)



合成医薬関連
(パラジウム等)



水素・アンモニア製造分野
(イリジウム・ルテニウム等)

成長戦略②

事業を地理的に拡張



貴金属リサイクル事業

アジアへの進出を加速し、**原材料の調達地域とリサイクル拠点を拡張**する

北米精錬事業

事業のさらなる多角化と**グローバル展開**を目指す

現在の
事業規模

生産基盤が拡充



坂東工場
(第1期)



坂東工場
(第2期)

- 坂東工場第2期の段階的稼働により、生産基盤を拡充
- 3つの成長戦略を支える事業基盤として機能

成長戦略③

リテール事業の強化



- 新製品開発によるリピート需要喚起
- 自治体等との連携による市場開拓
- 新サービス展開による新規顧客拡大

M&Aの実現による成長加速

既存事業と親和性の高い企業へのM&Aを通じて、**事業成長の加速と事業領域の拡張**を実現する

財務戦略の基本方針

- 事業成長と資本効率を意識した経営を推進
- 安定的なキャッシュ創出力を基盤に、財務健全性を維持しつつ、「成長投資」と「株主還元」を両立

成長投資

既存事業の収益性改善、M&Aを含む新規事業投資

株主還元

配当性向40%を目安に安定配当

財務健全性

事業特性を踏まえた財務健全性の維持管理を継続。並行して、資金調達が多様化と資金効率の改善を推進

キャッシュアロケーション

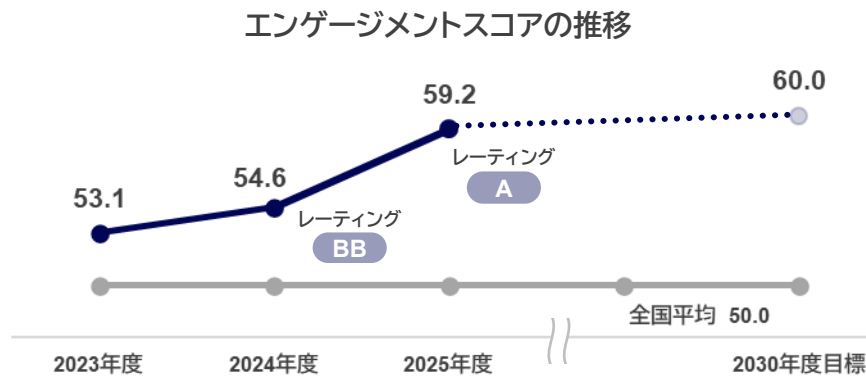
- 既存事業の設備投資が2026年度でピークアウトすることから、M&Aを含む新規事業投資による事業拡大に注力
- 配当性向40%の方針に沿って業績の拡大に合わせた安定配当を継続
- 余剰資金については、財務健全性に配慮しつつ、資本効率の向上策を検討



- 当社は、人的資本経営において「人材育成」と「組織力強化」を重要な要素と位置付けている
- エンゲージメントスコアは良好な水準にある一方で、抽出された課題への対応を進め、さらなる組織力の強化を図る



従業員エンゲージメント向上に向けた施策



今期の取り組み

- エンゲージメントスコアが低位または低下傾向にある組織に対しては、経営層による社員ヒアリングを実施
- 併せて、職場単位での対話を通じて課題を抽出し、組織長と連携した改善活動を推進

サーベイの分析結果

- エンゲージメントは、役割の明確化や上司による支援、対話といったマネジメント・コミュニケーション領域と高い相関があることを確認

対応策

- 対話を軸とした目標管理面談の質向上を目指す
- 新たな人事制度を持続可能な仕組みとして運用し、エンゲージメント向上につなげる



目次

1. AREについて
2. 事業紹介
 - I. 貴金属リサイクル事業
 - II. 北米精錬事業
3. 成長戦略
4. 株主還元
5. よくあるご質問

株主還元方針

配当性向40%を目安とした**安定配当**

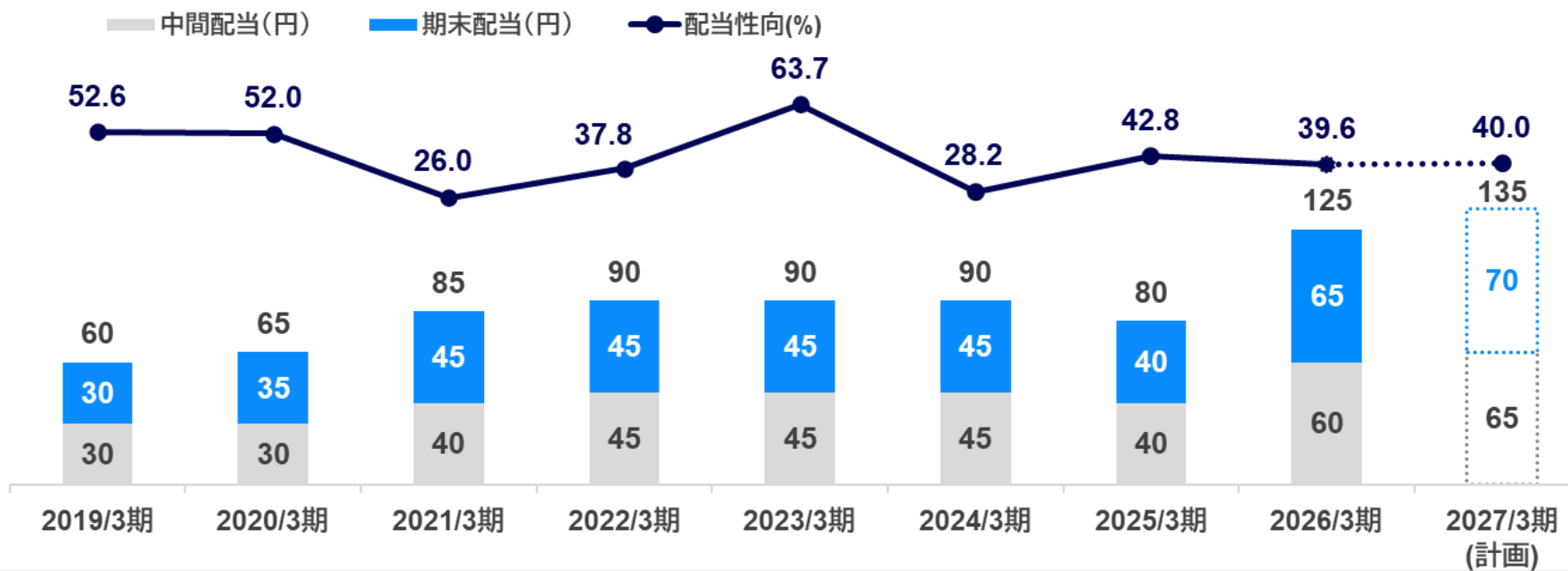
2027年3月期の配当予想

中間配当 **65円**
 期末配当 **70円**

年間配当
135円

前期比
10円増配

1株当たり配当金の推移





目次

1. AREについて
2. 事業紹介
 - I. 貴金属リサイクル事業
 - II. 北米精錬事業
3. 成長戦略
4. 株主還元
5. よくあるご質問

Q

中東情勢による業績への影響はありますか？

A

- ✓ 現時点では業績に大きな影響はありません
- ✓ 当社の国内工場では、王水(塩酸と硝酸の混合物)や硝酸、有機溶媒を用いて貴金属を精製しており、**供給に支障が出ている硫酸の使用は限定的です**

貴金属リサイクル事業



- 王水・硝酸・溶媒等を用いて貴金属を溶解・抽出する湿式製法を採用
- 一部で供給に支障が出ている**溶媒については工場内で再利用**しているため、業績への影響は限定的

北米精錬事業



- 火力を用いて貴金属を熔解させ、貴金属を分離・抽出する乾式製法を採用
- 資材の多くは米国内で調達しており、燃料についても長期契約を締結していることから、現時点で業績への影響は限定的

Q

2026年3月期の貴金属リサイクル量が大きく伸びているのはなぜですか？

A

- ✓ 米国の通商政策を起因とする事業環境の変化を踏まえ、北米精錬事業においてスクラップ原料の取り扱いを戦略的に拡大したことが主な要因です
- ✓ また、さまざまな産業・分野がリサイクル由来原材料の調達方針を発表する等、リサイクルされた貴金属に対する付加価値(グリーンプレミアム)の認識が広がっており、今後も需要の拡大が見込まれます

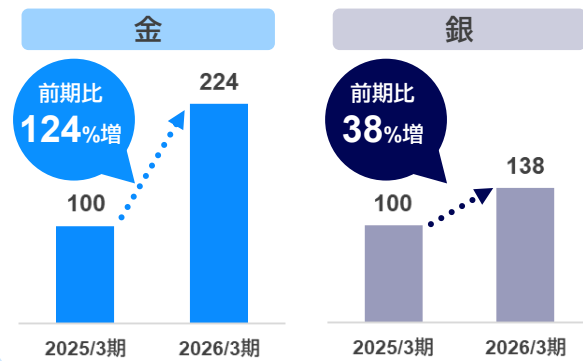
貴金属リサイクル量の増加

2026年3月期の
貴金属リサイクル量

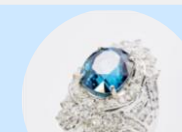


573トン
(前期比+34%)

北米精錬事業におけるスクラップ原料の入荷量



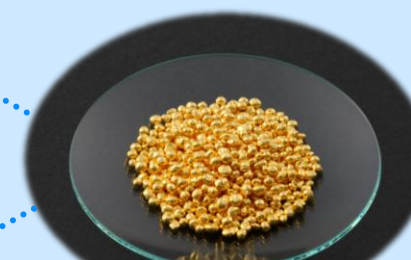
グリーンプレミアムの需要拡大



宝飾産業



電子産業



グリーンプレミアム

鉱山から産出された貴金属よりも、
リサイクル生産された貴金属に対して
付与される追加的対価



自動車



産業機器

Q 中長期ビジョンで掲げている数値目標の達成に向けた、主な成長ドライバーは何でしょうか？

- A
- ✓ 今年度下期に完成予定の坂東工場第2期の稼働により、収益性と競争力の向上を通じて、事業基盤が一層強化されると見込んでいます
 - ✓ こうした基盤強化を背景に、「**電子分野の拡大**」「**触媒分野の復調**」「**アジアへの進出拡大**」の3点が、中長期的な成長を牽引する主なドライバーになると考えています

1 電子分野の拡大



AI半導体関連
(金・パラジウム等)

- 国内・海外の**AI関連分野の回収拡大**
- 最新設備の導入・自動化による生産性改善

2 触媒分野の復調



合成医薬関連
(パラジウム等)

- **坂東工場の稼働開始**による収益拡大
- 化学・製薬分野からの回収量拡大

3 アジアへの進出拡大



- **ASEAN・インド**における回収営業の強化
- タイの現地工場稼働による収益性向上

Q

中長期ビジョンを踏まえた、今後の株主還元の考え方を教えてください。

A

- ✓ 当社の株主還元については、「**配当性向40%を目安とした安定配当**」を基本方針としています
- ✓ 中長期ビジョンで掲げた利益目標の達成を目指すとともに、業績の拡大に応じて、**還元方針に則った形で増配を計画**しています

株主還元方針

配当性向40%を目安とした安定配当

